

令和4年3月

役員・チーム関係者 様

(一社)新潟県野球連盟
理事長 石川 智雄

お知らせ

日ごろから当連盟の活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

競技者必携2022の解釈および運用につきまして、よりスムーズな試合運営のために周知(確認)すべき事項につきましてお知らせいたします。

記

1 「投手の12秒及び20秒ルールの取り扱い基準」について

・(公財)全日本軟式野球連盟を通じて技術委員会に確認したところ、あくまでもスピーディーな試合展開を目指した基準であり、厳密に適用することを目的としていない旨の回答がありました。そのため「2. 計時」に記載されているような二塁塁審がストップウォッチを持って計時することは行いません。ただし、ルールは存在していますので、数回注意しても守られない場合は適用される可能性があります。

2 時間制試合の導入に関して

(1) 学童部(女子共) 1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

(2) 少年部(女子共) 2時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

((1)、(2)とも一部抜粋) 詳細は競技者必携2022で確認のこと

勝敗(勝利)は目標ですが目的ではありません。お互いに気持ちよくゲームをするためにも、制限時間直前に、意図的に以下の行為を行うことは避けてください。特に罰則は伴っていませんが、スポーツに携わる者全員(監督・コーチ・プレーヤー・応援者等)が「スポーツマンシップ」の考え方を尊重して参加する態度を求めます。

①タイムをまとめ取りするなどして、わざと制限時間を経過させる行為

②不要なタイムを取らせたり(取ったり)、わざとファウルを打たせたり(打ったり)するなど明らかな時間かせぎの行為 【()内は選手の立場】

③時間を稼ぐための選手交代(例:複数の交代を意図的に一人ずつ交代申告するなど)

タイムは1分以内という規定で認められている権利でもあり、意図的に試合時間を経過させる目的でない場合もありますが、トラブルの原因となるような行為をお互いに避けるように心掛けてください。